The Hoppy Letter, the Museum Letter of the Hobetsu Museum, Mukawa Town, Hokkaido, JAPAN http://www.town.mukawa.lg.jp/2407.htm

ホッピーだより

むかわ町穂別博物館

No.491
2025年10月1日発行

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6
Tel 0145-45-3141 HP(http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm)
Facebook(@HobetsuMuseum)

穂別博物館リニューアルへ（13）

カムイサウルス全身「化石」の床下展示

建設中の博物館新棟の展示室内イメージ。イラストの手前側がカムイサウルス実物化石の床下展示。

レプリカを使って製作中のカムイサウルス実物化石の展示台づくり

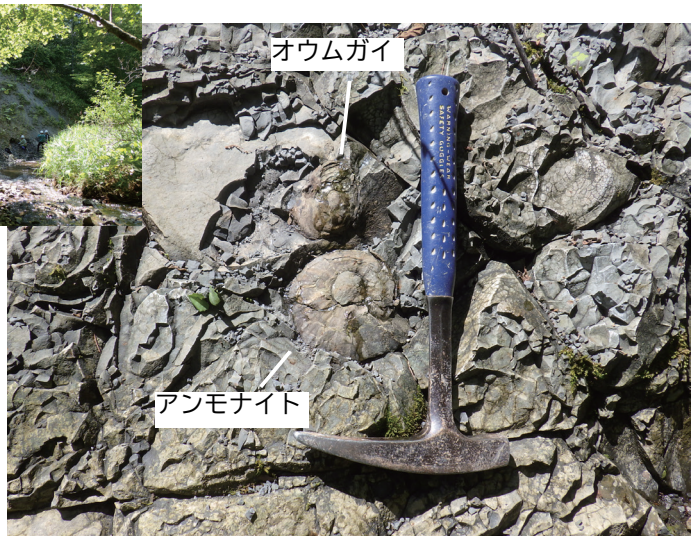
博物館の新棟では、カムイサウルスの実物化石を床下に展示します。新棟の床下に展示スペースを確保して、アクリル越しにカムイサウルスの全身化石を見ることができるようにします（上の図）。これは新博物館のメイン展示の一つで、新棟でしか見ることのできないものとなります！！！

レプリカを使って、この実物化石の展示台づくりも始まっています（左写真）。

2025 年度の収集資料（1/3）

オウムガイ化石

採集時のようす



地層面で横並びになるアンモナイトとオウムガイ化石。ハンマーの長さは 33 cm。

2026 年春に新博物館（穂別博物館の新棟）が開館するため、主に学芸業務を担当している西村学芸員と櫻井館長は 2025 年度に多忙になることが想定されていました。そのため、2025 年度は学芸員による野外調査を行わないとしていました。

こうした中、化石に詳しい吉川幸叙学芸補助員引率による中高生などボランティアを対象とした化石採集研修で、価値のある化石がいくつか収集されました。一つは、アンモナイトに比べると極希少で、地元産のものは 10 個体未満しか収集されていないオウムガイ化石です。白亜紀のサントニアン期のものとしては、当館唯一の資料となりました。

見たことのないイノセラムス

吉川学芸補助員（右）

発見したイノセラムス科二枚貝化石

ボランティア向け化石採集研修の別の日に、「見たことのないイノセラムス」を採集したと報告を受けました。これは、おそらくイノセラムス・エルンストイ（*Inoceramus ernsti*）という種類のもので、日本では小平町と三笠市から計 7 個体しか報告されていない種類です。私もこの種類は初めて見ました。

学芸員　西村智弘

穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

むかわ町穂別博物館

開館時間　9:30 ～ 17:00
（最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体（10 名様以上）	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2025年 10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2025年 11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

休館日　町民無料観覧日